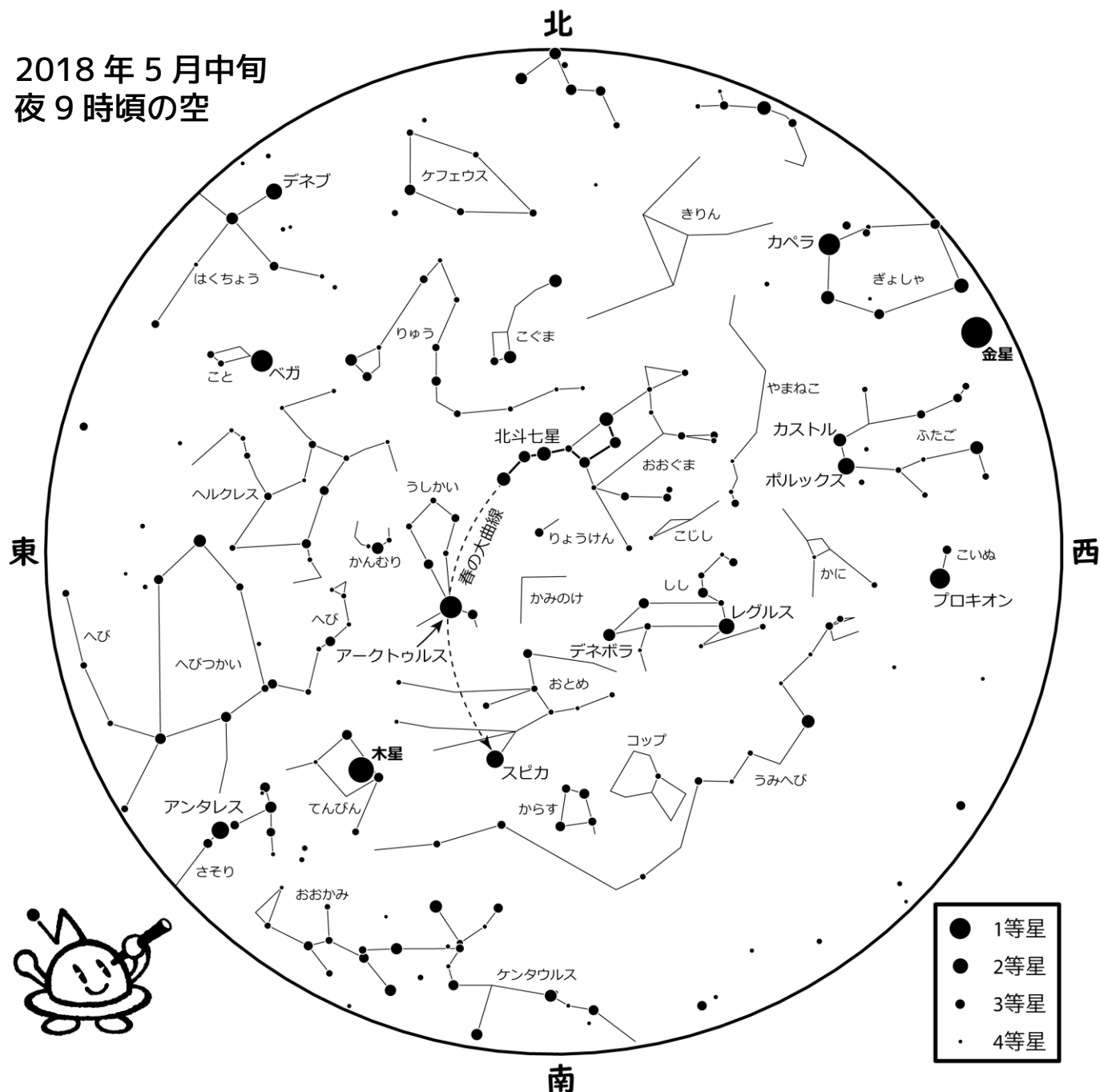


# 阿南市科学センター 5月の星空案内

2018年5月中旬  
夜9時頃の空


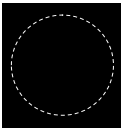




5月の夜空はよく柄杓(ひしゃく)に例えられる**北斗七星**が空高い位置に見えます。この北斗七星を使えば、うしかい座の**アークトゥルス**、おとめ座の**スピカ**という順に春の代表的な星々をたどることができ、これを『**春の大曲線**』と言います。ちなみにスピカからさらに曲線を延ばせば、**からす座**という台形型の星座も見つけることができるでしょう。なお南東の空には太陽系最大の惑星『**木星**』が昇り、5月から一般の方が観察しやすい時間帯に見ることができます。明るさは約マイナス2等星なので、夜空ではひときわ目立って見えることでしょう。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

## ◇ 月の満ち欠け

名称	下弦の月	新月	上弦の月	満月
形状				
見える日	5月8日	5月15日	5月22日	5月29日

## ◇ 惑星について

名称	水星	金星	火星	木星	土星
見どころ	上～中旬頃、夜明け前に東の超低空に見える。	日没後、西の低空に見える。	夜半過ぎ、東の空で見える。	前半夜から南東の空で見える。	夜半過ぎから南東の空で見える。
明るさ	約0等	約-4等	約-0.5～-1等	約-2等	約0等

## ◇ おすすめ天体 【木星を観察しよう！】

木星は太陽系最大の惑星として知られ、その大きさは地球のおよそ11倍もあり、太陽の周囲を約12年で一周します。長年研究が続けられている惑星ですが、まだ多くの謎が残されており、現在 NASA は木星探査衛星 **ジュノー** を使い、これまで観測されてこなかった北極・南極部などの観測を詳細に行っています。

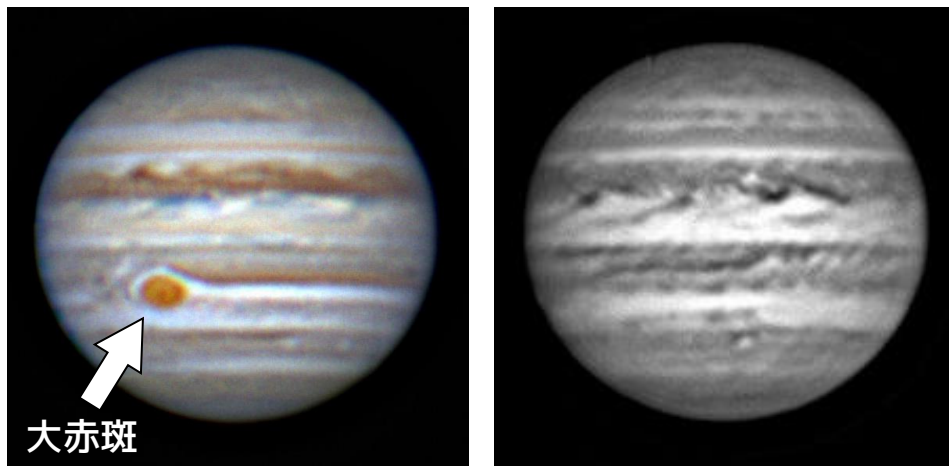


図1: 科学センターで撮影した木星。左は大赤斑が見え、右は大赤斑が見えていない状態。

ところで、5月に入ったことで阿南市科学センターの天体観望会でも木星が観察できるようになってきました（5月上旬は21時の回、中旬以降は20時ならびに21時の回でご案内できます）。木星を望遠鏡で観察すると、木星の周囲を公転する4つの衛星（**イオ**、**エウロパ**、**ガニメデ**、**カリスト**）を確認できます。ただし、衛星は木星の表側や裏側に位置することもあるので、全てを確認できない場合もあります。一方で、木星の表面には美しい模様があり、望遠鏡で観察すると何本かの縞（しま）を見つけることができるでしょう。さらに木星には**大赤斑**（だいせきはん）と呼ばれる赤っぽい斑点模様もあります。ただ木星は自転が非常に早く、約10時間で一回転してしまうため、観察したときに大赤斑が木星の裏側にまわっていることもあります。天体観望会のときは、大赤斑が地球側に向いてくれていると嬉しいですね。